

## 第 209 回 日本知能情報ファジィ学会 理事会議事録 (第 14 期第 2 回)

日時：2015 年 7 月 11 日 (土) 13:00-17:00

場所：関西大学 東京センター会議室 (サピアタワー 9 階)

出席者：萩原 (会長)、林 (副会長)、中川 (副会長)、堀口 (事業)、川本 (会誌)、  
三河 (広報)、片上 (将来構想・他学会連携)、橋山 (大会事業)、  
伴 (賞選考・女性会員)、星野 (電子化検討)、金久保 (会計)、井上 (会計監事)、  
徳丸 (事業監事)、彌富 (庶務)

### 議題

#### 1. 議事録の承認 (資料 209-0)

(a) 第 208 回理事会議事録の確認 (資料 209-0-1)

(b) 第 26 回総会議事録の確認 (資料 209-0-2)

(c) 第 14 期第 1 回評議会議事録の確認 (資料 209-0-3)

以上の議事録を承認した。

評議会の議事録の公開方法について、鬼沢評議会議長と相談することとした。

#### 2. FSS および SCIS の投稿サイトについて (資料 209-1:星野)

・ SNS 停止に向けてカラーチップスに依頼済であることが報告され、その際に必要となる費用 (約 5000 円程度) について承認された。

・ 現状の学会システムが抱えている課題 (複雑なシステム構成に起因する、セキュリティ面、サービス追加の困難性、維持のために年間 100 万円程度かかっているという金銭的負担) が報告されたうえで、FSS/SCIS 投稿システムの今後のシステム方針について議論がなされた。新しいシステムに移行する際の重要課題として、金銭決済システム、投稿システムと論文の採択情報の連携、必要な金銭的負担が挙げられた。今後星野理事を中心に調査し、理事会で検討を続けていくことを確認した。

#### 3. FSS 開催サポート体制の整備について (資料 209-2:堀口)

・ 今後の大会のサポート体制について

資料案のように大きな大会事業委員会を構築し、複数年で引き継いでいく制度は素晴らしいが、その大きな負担が予想される 3 年間の任期に引き受け手がでるか、どのように委員を決めるか、現職種の任期 (現在の委員の任期は 2 年) との不整合などについて意見が出て議論がなされた。

⇒案の通り実施できれば良いが、引き受け手の負担に関する課題もあり、大会事業委員会を複数年もたせる方向性のみ確認して継続審議とする

・ FSS2016 の実行体制について

理事会として、本部主導としてサポートすることが確認された。プログラム委員長をはじめ詳細は九州支部長の佐松先生と橋山理事が相談して決めることとなった。また実施時期について他学会と重複を避けるためにも橋山理事が確認をとることとなった。次回（3年後）に JNNS と FSS を一緒に「やるかどうかは今後の検討事項とした。

#### 4. SOFT-CR について（資料 209-3:三河⇒資料なし）

SOFT-CR の現状が報告された。立ち上げはできているが、更新されない、ツールの利用者が少ないなど、ユーザにアピールするために見せ方を一新する必要がある、今後の運営には大きな課題が残ることが認識された。

これに対して、投稿者を個別にお願いする、現方式は古く、モデレータを用意して Wiki 形式にしないと発展は難しい、賞などを用意するといった意見が出された。

⇒たくさんの人に利用してもらうための工夫を今後も検討していくこととした。

また、トップページの学会ロゴを元のもの（カラーつき）に戻すことを確認し、そのためにかかる費用についても承認した。

#### 5. 会誌の現状について（資料 209-4:川本）

・ FSS から論文誌への投稿の誘導について

論文誌の活発化のために FSS での発表原稿のうち、いい内容のものについて締切を区切って FSS から論文（short note）の流れをつくることについて議論を行った。投稿者のメリットや具体的な体制について、引き続き検討していくこととなった。

・ 論文誌と会誌を分けることについて

会誌の遅れに伴って論文誌が遅れることを防ぐ効果が期待でき、議論の中で反対意見は見られなかった。会誌の遅れについて、巻頭言、解説記事などについてはバッファを作っておく案も出された。今後編集委員会で議論してもらい、理事会でも継続審議とすることとした。

#### 6. 会計・財務について（資料 209-5:金久保）

資料 5-1 の報告、5-2 について承認した。

井上監事より、昨年度決算に一つ修正が必要な箇所があり対応中である旨報告があった。

#### 7. 将来構想について（資料 209-6:片上）

資料 209-6 を承認し、理事会からは萩原（会長）、林（副会長）、片上、川本各理事が参加

することとなった。

**8. 東レ科学技術賞・研究助成推薦依頼について (資料 209-7:彌富)**

推薦者ありの場合は、MLにて彌富理事まで連絡することとした。

**9. 平成 26 年度 (第 14 期) 学会ロードマップの作成について (資料 209-8:萩原)**

第 14 期理事会として、任期中、任期後の理事会の方針 (ロードマップ) について、種々の意見が出て、継続して議論していくとともに、投稿料が他学会誌に比べて高価格な点については、今後調査し、必要に応じて見直しをすることを確認した。

**10. 理事会メールリングリストでのメール審議について (資料 209-9:彌富)**

資料 209-9 を承認した。今期は事前に定めた期限までに異議がなければ、会長の同意がなくても承認したとみなせることを確認した。

**11. 平成 27 年度学会賞選考委員会メンバーについて (資料 209-10:伴)**

資料 209-10 を承認した。

**12. 次回理事会の開催について**

9 月 4 日 午前 10 : 00 ~ 場所未定

**13. 電子的複製権の管理委託に関して (資料 209-11)**

資料 209-11 を承認した。

**報告**

1. 理事会サーバ(Dropbox)の継続利用について (彌富)
  2. 会員数報告 (2015/6/26 現在) (資料 209-R1→資料 209-5-1:金久保)
  3. IFSA 選挙報告について (資料 209-R2:萩原) 済
  - 4 FSS2015, FSS2016, SCIS&ISIS2016 進捗状況について(資料 209-R3:橋山)
  5. 今後の理事会議案および資料の送付期限について (彌富)
- 原則、議題は 1 週間前まで 資料は 2 日前までに彌富理事に送付する